

第4学年〇組 体育科学習指導案

平成28年11月16日(水) 第5校時 校庭

1 単元名 「ダッシュでトライ! 全員主役のタグラグビー!」(ゴール型ゲーム)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

- 接触プレーを排除したルールで、安全に楽しむことができる運動である。
- ボールを持って自由に走り回ることができ、広いゴールに走りこめば得点できる取り組みやすい運動である。
- タグをとることで守備が成功するため、ボール操作が苦手な児童にも守備がしやすい運動である。
- タグを取られると前進できなくなるため、周囲のボールを持たないときの動きが重要になる運動である。
- 集団対集団で競い合い、仲間と力を合わせて競争することを楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

(2) 児童から見た特性

タグラグビーの楽しさや喜びを感じる要因	タグラグビーを遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none">・タグをとられないように守備者をかわしながら得点を狙うとき・タグを取って攻撃者の動きを封じるとき・作戦を生かしてパスやランでボールを進めるとき・仲間と協力してトライができたとき	<ul style="list-style-type: none">・他の球技と異なる楕円形のボールの操作が難しいとき・ルールを理解するのに時間がかかり、動き方がわからないとき・足の速い子など特定の児童だけが活躍し、ボールに思うように触れられないとき・作戦をうまく立てられなかったり、チームの中で役割がわからなかったりするとき

3 児童の実態

5月に実施した本校の「新体力テスト」の結果と「県体力標準値」を比較すると、男女ともに記録が上回るものが多かった。しかし、男子はボール投げが標準値を大きく下回っている。休み時間の外遊びの様子から、鬼遊びや遊具を使った遊びは多く行われているが、ボール遊びはサッカーなど一部の遊びに限られていて、あまり行われていないためと考えられる。

(1) 技能

ゴール型ゲームについて、第3学年では、タグラグビーやハンドボール、ラインサッカーを経験している。いずれの単元においても、基本的なボール操作を身に付けることを主なねらいとして取り組んできた。そのため、ボールを持っていないときの動きについての指導はしているが、動き方がわからずボールを追いかけるだけの児童も見られた。

タグラグビーは、第3学年で初めて経験している。その際には規則を工夫した易しいゲームの行い方を知り、ボールを持って相手をかかわして走る動き、相手のタグを取りに行く動き、下から投げるパスをする動きなどを身に付けた。ボールを持たないときの動きについては、まだ十分に身に付いていないため、得点できる児童に偏りが見られ、仲間との連携を生かした試合はあまり見られなかった。

(2) 態度

アンケートの結果から、全ての児童が体育を「好き」または「どちらかというとき好き」と答えている。体育に高い関心を持ち、運動することの面白さや満足感などを多くの児童が感じていることがわかる。しかし、体育は「好き」と答えていても、運動に苦手意識をもっている児童が数人いる。動き方がわからなかったり、運動の特性を味わえなかったりすることで、その種目における意欲が薄れてしまうことがある。

3年生で初めて学習したタグラグビーについての意識調査でも、「好き」「どちらかというとき好き」と答えた児童がほとんどであった。「タグを取ったり取られたりすること」「得点をとること」「ボールを持って走ること」などに魅力を感じている児童が多く、本単元のタグラグビーの学習を楽しみにしている。

「ボール運動をしていて楽しいと思うのはどのような時ですか」という質問に対しては、「チームワークがよいとき」と答えた児童が7割以上を占め、チームで協力して運動を行う楽しさを感じていることがわかる。一方「応援や励まし合いができたとき」と回答した児童の割合は最も低かつ

た。

6月に行った「キャッチソフトバレー」では、準備を進んで行ったり、仲間と真剣に作戦を話し合ったりする姿が見られた。反面、勝敗にこだわり、相手チームにきつい言葉をかけたり、試合後のあいさつができなかったりしたこともあった。本単元ではゲームの結果や勝敗を受け入れる態度を身に付けられるようにしたい。

〈意識調査〉

一部略

① 体育は好きですか。		
好き	人	〈理由〉・楽しいから。 ・勝ったときうれしいから。 ・技ができるようになると嬉しいから。 ・汗をかくと気持ちがいいから。 ・運動が好きだから。 ・体を鍛えられるから。 ・みんなと協力してできるから。 ・いろいろな運動ができるから。
どちらかと言うと好き	人	〈理由〉・勝つとうれしいけど、失敗すると仲間に悪いから。 ・上手くできるけど、楽しくないから。 ・運動は苦手だけど、好きな種目もあるから。
どちらかと言うと嫌い	人	
嫌い	人	
② タグラグビーは好きですか。		
好き	人	〈理由〉・タグを取ったり取られたりするの楽しいから。 ・パスが楽しいから。 ・みんなと協力してやるのが楽しいから。 ・活躍できると嬉しいから。 ・守ったり攻めたりするのが面白いから。 ・得点を取れると面白いから。
どちらかと言うと好き	人	〈理由〉・走るのが好きだから。 ・突破して得点を取ると気持ちがいいから。
どちらかと言うと嫌い	人	〈理由〉・ボールを投げるのが苦手だから。
嫌い	人	〈理由〉
③ ボール運動をしていて楽しいと思うのはどのような時ですか。		
チームワークが良いとき	人	%
自分が試合で活躍できたとき	人	%
試合に勝てたとき	人	%
上手にボール操作ができたとき	人	%
作戦が上手く使えたとき	人	%
先生や仲間に褒められたとき	人	%
たくさん動くことができたとき	人	%
応援や励まし合いができたとき	人	%

(3) 思考・判断

児童は第3学年で学習したラインサッカー、ハンドボール、タグラグビーの3つのゴール型ゲームにおいて、チームで簡単な作戦を立てる経験をしている。リーダーを中心とした話し合いが行われ、作戦を自ら考え、役割分担を進んで割り振っている姿なども多々見られた。しかし、リーダー以外の児童の中には、自分の考えをもてず、どのように話し合いに参加すればよいかわからない児童も多く、話し合いの方向性が逸れてしまう場面も見られた。また、自分達の課題に合わせて、コートの大さきや、プレー人数などの規則を工夫する経験も少ない。

4 教師の指導観

(1) 技能

本学級の児童は、ボール運動の経験が乏しいために、ボールを追いかけるだけになってしまう児童や、ゲーム中の動き方がわからずに、ほとんど走らない児童が数多く出てしまうことが予想される。その結果、運動量や意欲に差が生じ、学習内容が身に付かないまま単元を終えてしまうことも考えられる。

効果的に学習していくために、規則や運動の場、得点の方法などを工夫することで、全ての児童に運動の特性や魅力を味わわせ、楽しさや喜びを感じながら技能を確実に身に付けられるようにしたい。時間制による攻守交代を取り入れることなどで、攻めや守りに一定時間専念して、動き方を身に付けることができる時間を確保していく。

また「ボールを持って前へ走ること」「ボールを手渡ししたり投げたりしてパスをすること」「相手のタグを取ること」「タグを取られないようにかわして走ること」など、基本的な技能の習得は、ゲームを楽しむために不可欠である。本学級の児童は、短距離走やボール投げなどで能力差があるため、最低限の技能を保障するためのスキルアップゲームを毎時間位置づけるようにしたい。その際、単なる動作の繰り返しにならないように得点制にするなど、ゲーム化し、自分やチームの伸びを感じられるようにする。

さらに、相手チームをかわす動きやボールを持たないときの動きの習得など、戦術的な課題を解決するための課題ゲームを行い、学習内容を定着させる時間を十分に確保したい。

運動の魅力を児童に味わわせ、意欲を高められるよう、単元の前半では「ノックオン」や「オーバーステップ」等での攻守交代を採用せず、簡単なルールで多くの児童が得点できるようにする。

(2) 態度

全ての児童が得点しやすい規則の工夫や、ボール操作や動き方についての適切な指導によって、児童一人一人が進んで運動に取り組めるようにする。また、自己の学びを振り返り、伸びを感じることができるように学習カードを活用し、運動の意欲を高める。

本学級の児童はボール運動に対して関心が高い。発達段階としても、競争することを好み、勝敗に対するこだわりが強く出る時期である。感情をそのままぶつけ合うことなく、公正な態度として勝敗を受け入れることができるよう指導していきたい。

また、試合ごとにトライできた人数によって加点をすることで、多くの児童がトライできるようにチームごとに攻め方を工夫させるようにする。

仲間と協力し、正々堂々と自分たちの力を出し切りゲームを楽しむために、チームの団結は不可欠である。チームでの役割分担や、準備を手際よく分担して行うこと、ファイトコールを取り入れるなどして、規則を守って仲良く協力して運動できるようにしたい。

(3) 思考・判断

児童はこれまで、ゴール型ゲームにおいて規則の工夫をした経験が少ない。基本的なゲームの行い方を知り、ゲームや練習を楽しく行うための規則の工夫の仕方（コート、プレーヤーの数、得点の仕方、プレー上の制限など）を教師が提示して、クラス全体でよりよい規則を考えながら選んでいくようにしたい。

作戦を考える際に、タグラグビーの特徴に合った攻め方をしっかり理解できるように指導する。また、提示された戦術の中から選ぶことで、どの児童もタグラグビーの特徴に合った攻め方を考えられるようにする。作戦はチームみんなで考えさせ、それが成功した時は全体に紹介し、みんなで喜び合うとともに効果的な作戦をクラス全体で共有できるようにしたい。

5 研究テーマとの関わり

研究テーマ 『仲間とともに学び合い、進んで体力を高めようとする児童の育成』 ～仲間との関わり合いを大切にしたい「ともに伸びる子」をめざして～（3年次）
--

(1) めざす児童像

- 運動を通して、互いに学び合い、認め合い、励まし合いながら、ともに伸びる子
- いろいろな運動（遊び）の場を通して、仲間と進んで体力を高めながら、ともに伸びる子
- 心身ともに健康・安全な生活を通して、めあてをもちながら、ともに伸びる子

(2) 仮説と手立て

仮説1 運動の特性や児童の実態を正しく理解し、仲間との豊かな関わり合いを育む学習を工夫すれば、進んで体力を高めようとする児童が育つであろう。

【手立て①】運動の特性を生かした指導の工夫

タグラグビーは、ボールを持って自由に走り回ることができ、得点の仕方も広いゴールに走りこめばよいと、運動が苦手な児童も含め「今持っている力で楽しむことができる運動」である。この特性を生かし、単元の前半は「ボールをもらったらタグされるまで前に走る」ことを指導し、ラン中心の試合で一人一人の運動の機会をしっかりと確保する。また、1試合の中で、得点できた児童は、帽子を「白帽子」にして、「白帽子」になった児童の人数によって、加点を行うようにする。それによって、運動が苦手な児童にもボールが回る機会を増やすとともに、まだ得点できていない児童に対して教師から適切な助言ができるようにする。

また、スキルアップゲームを毎時間行い「ボールを持って前へ走ること」「ボールを手渡しや投げでパスをすること」「相手のタグを取ること、取られないようにかわして走ること」などの学習に必要な基本的な技能を確実に習得させる。そのとき、単なる反復練習にならないように、得点制にしたり、速さを競い合ったりしてゲーム化し、技能を確実に身に付けられるようにする。

ねらいに関わる戦術的な動きを高めるための課題ゲームを行い、1時間ごとに学習内容を確実に習得できるようにする。また、その習得した技能や戦術を試すためのメインゲームを行うことで、学習したことをすぐに生かす場を作り、意欲が高まっていくようにする。

【手立て②】仲間との学び合いを重視した指導の工夫

チームでの役割分担をしっかりと行い、準備を協力して手際よく行うことで、仲間と協力して活動できるようにする。また、ファイトコールを取り入れたり、チームカラーを作ったりして、チームへの所属意識をもち、応援や励まし、アドバイスなどが生まれるようにしたい。励ましやアドバイスを推進するために、よい動きに対する言葉掛けの例を掲示物を使って示し、単元の後半には児童同士で自然と言葉掛けができるようにする。さらに、1試合ごとに得点できた児童は白帽子にし、白帽子になった児童の人数によって加点を行うことによって、全員が得点できるようにチーム全体でアドバイスをしたり励まし合ったりできるようにする。

よいプレーが出たときは、みんなで喜ぶとともによい作戦をクラス全体で共有できるようにして、学び合いの雰囲気をつくる。

仮説2 運動（遊び）の必要性を理解し、日常生活における習慣化が図れば、めあてをもって健康・安全な生活を送ることができる児童が育つであろう。

【手立て①】休み時間の効果的な活用

毎週、係活動で企画したクラス遊びや運動集会を行い、楽しみながら集団で運動をする機会を定期的に作る。

6 単元の目標

- (1) タグラグビーに進んで取り組むとともに、規則を守り勝敗を受け入れて仲良く運動しようとしたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしたりすることができるようにする。

【関心・意欲・態度】

- (2) 規則を工夫したり、簡単な作戦を立てたりすることができるようにする。

【思考・判断】

- (3) 易しいゲームを楽しく行うための基本的なボール操作や簡単な動きを身に付けることができる。

【技能】

7 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	○タグラグビーに進んで取り組むとともに、規則を守り勝敗を受け入れて仲良く運動しようとしたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしたりしている。	○規則を工夫したり、簡単な作戦を立てたりしている。	○易しいゲームを楽しく行うための基本的なボール操作や簡単な動きを身に付けている。
学習活動に即した評価規準	①タグラグビーに進んで取り組もうとしている。 ②規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ③友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ④ゲームを行う場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。	①タグラグビーの基本的な行い方を理解し、攻め方を工夫している。 ②易しいゲームを行うためのゲームの規則を選んでいる。 ③タグラグビーの攻め方を知るとともに、作戦を選んでチームの動きを考えている。	①ボールを持ち、相手をおかわしながら走るとともに、味方にボールを手渡したり、パスを出したりすることができる。 ②ボール保持者からパスを受けられる位置に移動することができる。

8 単元の計画

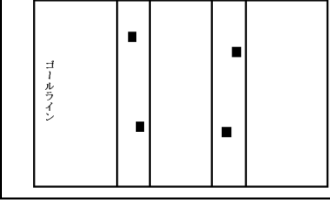
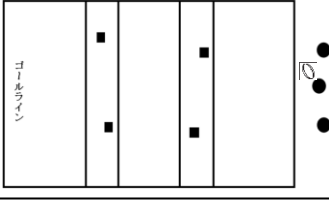
(1) 領域（ゲーム・ボール運動）の取り上げ方

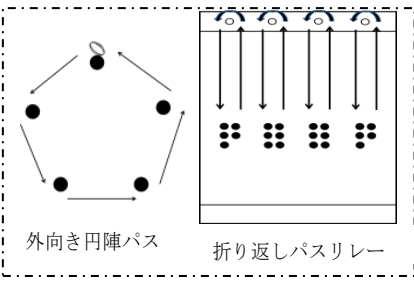
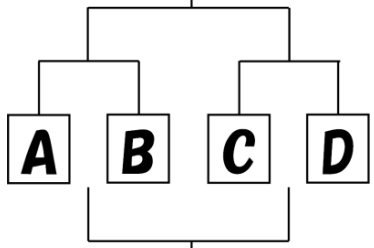
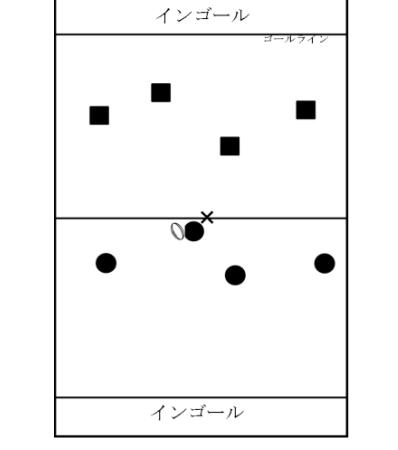
学年	鬼遊び	ボールゲーム	ゴール型(ゲーム)	ネット型(ゲーム)	ベースボール型(ゲーム)
第1学年	鬼遊び5時間	ボール遊び4時間 ボール投げゲーム6時間 ボール蹴りゲーム5時間			
第2学年	鬼遊び6時間	ボール投げゲーム11時間 ボール蹴りゲーム6時間			
第3学年			ラインサッカー8時間 ハンドボール8時間 タグラグビー6時間		ティーボール6時間
第4学年			リングゲーム9時間 タグラグビー8時間 (本単元)	キャッチソフトバレー7時間	
第5学年			フラッグフットボール8時間	ソフトバレー6時間	ソフトボール6時間
第6学年			サッカー8時間 バスケットボール9時間	ソフトバレー6時間	

(2) 運動（ゴール型ゲーム・ゴール型）の取り上げ方

学年	教材	目指す動き
3	ラインサッカー ハンドボール	○基本的なボール操作によって、空いている場所に素早く動いてゲームをすること。 ○ボールを持ったときにゴールに体を向けること。
	タグラグビー	○ボールを持ってゴールに向かって走ること。 ○ボール保持者のななめ後ろに移動すること。
4	リングゲーム	○守備者は向かってくるボールの正面に移動すること。 ○ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動すること。
	タグラグビー	○味方にボールを手渡したり、パスを出したりすること。 ○ボールを持って、相手をおかわしながらゴールに向かって走ること。 ○ボール保持者からパスを受けられる位置に移動すること。
5	フラッグフットボール	○投げる、受ける、蹴る、止める、運ぶといったボール操作をすること。 ○ボールを保持する人からボールを受けることのできる場所に動いたりしてゲームをすること。 ○近くにいるフリーの味方にパスを出すこと。 ○相手にとられない位置でドリブルをすること。
6	サッカー バスケットボール	○チームの作戦に基づいた位置どりやボール操作によって得点すること。 ○得点しやすい場所に移動し、パスを受けて、シュートすること。 ○ボールを保持する人とゴールの間に体を入れてシュートを防ぐこと。 ○ボールを保持する人と自分の間に守備者を入れないように立つこと。

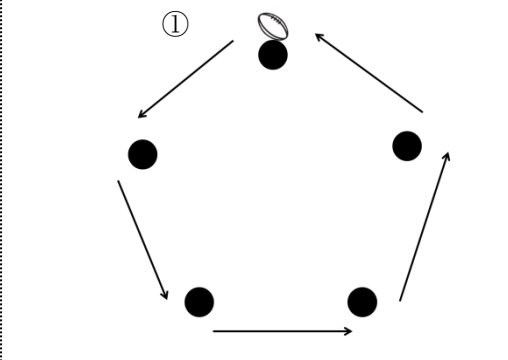
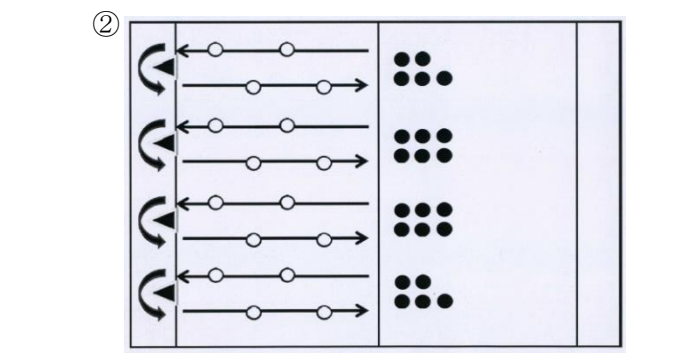
(3) 指導と評価の計画（8時間扱い） 本時は○印 6 / 8時

時	1	2・3	4・5		
ねらい	○タグラグビーの基本的な行い方を知り、攻め方を工夫しよう	○友達と協力して準備や片付けをし、安全に気を付けて運動を行おう。	○走り方や動きを工夫し、相手をかわしながら走ってボールを前に進めよう。	○タグラグビーに進んで取り組み、易しいゲームを行うためのゲームの規則を選ぼう。	○ボールを持っている人からパスを受けられる位置に移動して、サポートの力を高めよう。
指導の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方 ・学習の約束 ・準備の方法 ・スキルアップゲームの行い方 ・やさしいルールでのゲームの行い方 ・学習カードの記入について 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や片付けの仕方 ・ボール保持者のランの仕方 ・ボール保持者のパスの出し方 ・空いているスペースにボールを運ぶ動き ・走り方や動きの工夫の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール保持者のランの仕方 ・ボール保持者のパスの出し方 ・空いているスペースにボールを運ぶ動き ・走り方や動きの工夫の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則の工夫の仕方 ・ボールを持っていないときの動き ・守備の仕方 ・新しいルールでのゲームの行い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持っていないときの動き ・守備の仕方 ・新しいルールでのゲームの行い方
学習過程	<p>1 集合、整列、挨拶をする。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <p>《オリエンテーション》</p> <p>3 単元の学習内容と本時のねらいを確認する。</p> <p>4 学習の仕方や進め方に見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程、1時間の流れ ・学習の約束の確認 ・用具や準備の確認 ・学習カードの記入のしかた <p>5 基本のスキルアップゲームを行う。</p> <p>①金魚のランニング+パス</p> <p>※3人で走り、ボールを持った人を「金魚」として、あとの2人は金魚の左右の後ろから離れずにぴったりついて追いかける。パスでは「金魚」の人がどちらかにパスを出し、場所を交代しながら進む。ぴったりボール保持者について走れるようにする。</p> <p>②円陣パス</p> <p>※チームごとに円陣を作り、各チームでパスを回す。30回できたら全員が中央に集まり「トライ！」という。下から投げるパスに慣れるようにする。</p> <p>③折り返しパスリレー</p> <p>※チームごとに列を作り2人1組でパスをしながらコーンを回ってきてリレーをする。仲間の近くまで戻ってきたら手渡しでボールを渡す。素早いパスとボール運びを身に付ける。</p> <p>※基本のスキルアップゲームを通して「タグ」や「トライ」をしたときの声出しや、タグの返し方などを身に付けるようにする。</p> <p>※用具の使い方や学習の場を確認し、安全に短時間で準備できるようにする。</p> <p>6 試しのゲームを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・フルコートの3対3 ・流れによる攻守交代を行う。 ・守備ゾーンなし ・前半4分後半4分 </div> <p>※ルールを確認しながら行い、今後の学習の見直しをもつ。</p> <p>※タグやトライの際に、大きな声で「タグ」や「トライ」を言えるようにする。</p> <p>※タグを取ったらタグを返すまでどちらもゲームに参加できないことを確認する。</p> <p>※タグを取られるまで守備者をかわして前に進んでいけるようにする。</p> <p>※タグされたら3秒以内、3歩以内でパスできるようにする。</p>	<p>3 スキルアップゲームを行う。</p> <p>①金魚のランニングパス</p> <p>※ボール保持者に味方がしっかり付いていき動きや、パスができるようにする。</p> <p>②円陣パス</p> <p>※下から投げるパスに慣れ、チームで声を出しながらパスできるようにする。</p> <p>※体の向きを投げる人に向け、両手でしっかりキャッチできるようにする。</p> <p>4 本時のねらいを確認する。</p> <p>5 課題ゲームを行う。</p> <p>「インバーダーゲーム」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側2人、守備側4人（1列2人）で行う。 ・攻撃者は1人ずつボールをもち、守備者にタグを取られないように走り抜け、ゴールゾーンまで行けたら得点。 ・タッチラインを越えてしまったらスタートラインからやり直す。 ・守備者が動けるのは守備ゾーンのみ。 ・1分以内に何点とれるかを競う。 </div>  <p>※空いているスペースを具体的に示す助言をして、思い切って前に進めるようにする。</p> <p>※準備や片付けの役割分担を明確にし、協力して行えるようにする。</p> <p>6 メインゲームを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフコートの4対3 ・時間制による攻守交代。 ・守備ゾーンを作る。 </div> <p>※課題ゲームに身に付けた動きを生かせるように助言する。</p> <p>※安全に気を付けながら運動している児童を称賛する。</p> <p>※前に進める状況や役割を考慮することで、今後の作戦作りにつながるようにする。</p> <p>※スワープやカットインなどのよい動きは紹介し、全員で共有できるようにする。</p> <p>※課題ゲームに身に付けた、空いたスペースを生かす走り方や動きを実践できるようにする。</p>	<p>3 スキルアップゲームを行う。</p> <p>①外向き円陣パス</p> <p>※下から投げるパスに慣れ、チームで声を出してパスできるようにする。</p> <p>②折り返しパスリレー</p> <p>※チームごとに列を作り2人1組でパスをしながらコーンを回ってきてリレーをする。パスはケンステップの置いてある場所で行う。仲間の近くまで戻ってきたら手渡しでボールを渡す。下からの素早いパスとボール運びを身に付ける。</p> <p>4 本時のねらいを確認する。</p> <p>5 課題ゲームを行う。</p> <p>「インバーダーゲーム2」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側3人、守備側4人（1列2人）で行う。 ・攻撃者は3人の内1人がボールをもち、ランやパスをして、ゴールゾーンまでボールを持っていけたら得点。 ・タッチラインを越えてしまったらスタートラインからやり直す。 ・守備者が動けるのは守備ゾーンのみ。 ・2分以内に何点とれるかを競う。 </div>  <p>※ボール保持者のななめ後ろや横などに常にいるようにして、パスをもらえるようにする。</p> <p>※空いているスペースを具体的に示し、ボールを持っていない児童がパスを受ける場所を選べるようにする。</p> <p>6 メインゲームを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・フルコートの4対3 ・流れによる攻守交代。 ・以下のときは、相手側のフリーパスになる。 </div> <p>①ボールをタッチラインから出してしまうたりタッチラインをふんでしまったとき</p> <p>②ボールを前に落としてしまったとき（ノックオン）</p> <p>③タグをされてから3歩以上歩いてしまったとき</p> <p>④タグの回数が4回になったとき</p> <p>※規則の工夫のしかたを具体的に示し、話し合いによって選べるようにする。</p> <p>※課題ゲームに身に付けたボールを持っていないときの動きを実践できるようにする。</p>		
	評価計画	<p>関</p> <p>思</p> <p>技</p> <p>方法</p> <p>場面</p>	<p>③④</p> <p>①</p> <p>観察・学習カード</p> <p>3・5</p>	<p>①</p> <p>①</p> <p>観察・学習カード</p> <p>6</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>②</p> <p>観察・学習カード</p> <p>6</p>

⑥	7	8
○タグラグビーの攻め方を知り、作戦を選んでチームの動きを考えよう。	○作戦に応じて動きを工夫し、チームで協力して立てた作戦を実行しよう。	○友達と励まし合いながら、“ノーサイド”の精神で「4の1チャンピオンシップ」をしよう。
<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーの特徴に合った作戦を知ること ・作戦を選ぶこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・作戦に応じた動きを行うこと ・基本的なボール操作 ・ボールを持っていないときの動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則を守ること ・友達と励まし合うこと ・勝敗を受け入れること ・自己の運動能力の高まりを感じる ・学習の振り返り
<p>1 集合、整列、挨拶をする。 2 準備運動をする。</p> <p>3 スキルアップゲームを行う。 ①外向き円陣パス ※チームで声を出しながら、素早く正確に下投げの後方に向けたパスを出せるようにする。 ※体の向きを投げる人に向け、両手でしっかりキャッチできるようにする。 ②折り返しパスリレー ※チームごとに列を作り2人1組でパスをしながらコーンを回ってきてリレーをする。パスはケンステップの置いてある場所で行う。仲間の近くまで戻ってきたら手渡しでボールを渡す。下からの素早いパスとボール運びを身に付ける。</p>	 <p>外向き円陣パス</p> <p>折り返しパスリレー</p>	<p>3 本時のねらいを確認する。</p> <p>4 4の1チャンピオンシップを行う。 ※これまでの学習を活かし、チームで協力して運動できるようにする。</p> <div data-bbox="1037 616 1428 1243" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>トーナメント戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルコートの4対4 ・流れによる攻守交代 ・守備ゾーンなし ・前半5分後半5分 ・プレーの前に作戦作りの時間、前半と後半の間に作戦を見直す時間を設ける。 <p style="text-align: center;">優勝</p>  <p style="text-align: center;">3位決定戦</p> </div>
<p>4 本時のねらいを確認する。 ※基本の戦略を知り、進んで作戦を立てることができるようにする。</p> <p>5 課題ゲームを行う。</p> <div data-bbox="151 907 574 1288" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフコートの4対4 ・2分半を1セットとし、2セット行ったら攻守交代する。 ・守備ゾーンあり <p>ゲームの流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①作戦を選ぶ ②攻撃2分半(1セット) ③作戦の見直し ④攻撃2分半(1セット) -攻守交代- ⑤作戦を選ぶ ⑥守備2分半(1セット) ⑦作戦の見直し ⑧守備2分半(1セット) </div> <p>※時間制による攻守交代を行うことでどちらのチームにも、作戦を試す機会を確実に設ける。 ※攻撃を2セットにわけることで、作戦を見直しながらよりよい作戦を考えられるようにする。</p> <p>6 作戦を試すためのメインゲームを行う。</p> <div data-bbox="151 1433 574 1601" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・フルコートの4対4 ・流れによる攻守交代 ・守備ゾーンなし ・前半5分後半5分 ・プレーの前に作戦作りの時間、前半と後半の間に作戦を見直す時間を設ける。 </div> <p>※課題ゲームで身に付けたチームの動きを実践で試すことができるようにする。 ※ランニング中心のゲームからパスを加えたゲームへとスムーズに移行できるようにする。</p>	<p>4 本時のねらいを確認する。</p> <p>5 メインゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルコートの4対4 ・流れによる攻守交代 ・守備ゾーンなし ・前半5分後半5分 ・プレーの前に作戦作りの時間、前半と後半の間に作戦を見直す時間を設ける。 <div data-bbox="598 1052 1013 1534" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">インゴール</p>  <p style="text-align: center;">インゴール</p> </div> <p>※作戦ボードを活用し、選んだ作戦を試しながら、修正したり組み合わせたりできるようにする。 ※前時に考えた作戦をもとに、よりよいチームの動きを身に付けることができるようにする。 ※作戦について話し合ったり、練習をしたりする時間を設け、立てた作戦を実践に生かせるようにする。</p>	<p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンピオンシップの結果発表、表彰 ・学習カードの記入 ・ねらいにそった振り返り・単元を通しての感想発表 <p>6 整理運動、挨拶をする。</p>
<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの記入 ・ねらいに沿った振り返り ・次時の学習の予告 <p>8 整理運動、挨拶をする。</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの記入 ・ねらいに沿った振り返り ・次時の学習の予告 <p>7 整理運動、挨拶をする。</p>	
③		②
観察・学習カード	①② 観察・学習カード	観察、学習カード
5	5	4

9 本時の学習と指導（6／8時）

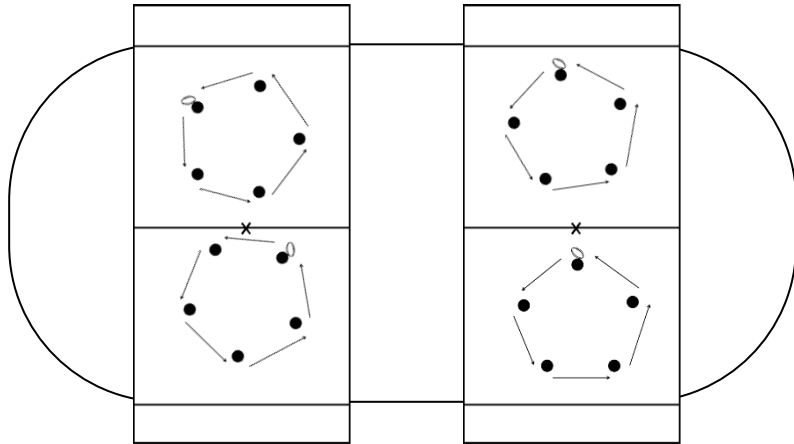
- (1) ねらい
 ○作戦を選んだり組み合わせたりして、チームの動きを工夫することができる。 【思考・判断】
- (2) 準備
 ・学習掲示資料 ・学習カード ・ストップウォッチ ・得点板 ・ホイッスル ・カラーコーン
 ・ラグビーボール（4号） ・ビブス ・タグベルト ・タグ ・太鼓
- (3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 12分	1 集合、整列、挨拶、健康観察をする。 2 準備運動を行う。 3 スキルアップゲームを行う。 【スキルアップゲーム】 ①外向き円陣パス ※チームごとに円陣を作り、外を向いてパスを回す。30回できたら全員が中央に集まり「トライ！」と言う。チームで声を出しながら、素早く正確に後方に向けたパスを出せるようにする。 ②折り返しパスリレー ※チームごとに列を作り2人1組でパスをしながらコーンを回ってきてリレーをする。パスはケンステップが置いてあるポイントで行う。仲間の近くまで戻ってきたら手渡しでボールを渡す。下からの素早いパスと走りながらのボール運びを身に付ける。	○素早く整列し、元気に挨拶をして学習を始められるようにする。 ○児童の健康状態や服装を確認する。 ○全身を十分に動かし、1つ1つの動きを丁寧に行わせる。 ○チームごとに速さを競い合うなどゲーム化し、タグラグビーを行うための基本的な技能を楽しく身に付けられるようにする。 ○相手の胸のあたりに向かって投げることを意識させ、ななめ後ろにボールを素早く投げられるようにする。 ○ボールをパスする人に体を向け、両手でしっかりキャッチできるようにする。 ○チームで連携し、素早いパス回しをしながら前へ走っていく動きができるようにする。 ○走りながら両手でしっかりとボールをキャッチできる力を身に付けられるようにする。 ○ポイントをおさえたい動きができていない児童を具体的に褒め、よりよい動きを全体に広めるようにする。
	 <p style="text-align: center;">外向き円陣パス</p>  <p style="text-align: center;">折り返しパスリレー</p>	
	4 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【第6時 学習課題】 ○作戦を選んだり組み合わせたりして、チームの動きを工夫しよう。 </div> 5 場の準備をする。	○掲示資料を活用し、本時の学習のめあてを確認する。 ○タグラグビーの特性を生かした、作戦を立てるときのポイントをおさえ、教師が提示した作戦の中からやってみよう作戦を選ぶことをおさえる。 ○安全に気を付けながら、友達と協力して準備ができるようにする。

<p>展開 28分</p>	<p>6 課題ゲームを行う</p> <p>【課題ゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフコート、4人対4人で行う。 ・守備ゾーンを作る。(守備側のチーム内の一人はそのゾーンの中のみ動くことができる。) ・次のプレーがあったとき、1プレーを終了する。コート中央に戻ってフリーパスから始める。 <ol style="list-style-type: none"> ①ボールを前に落とす。 ②タッチラインからボールや足が出てしまう。 ③タグを4回される。 ④その他の反則などがあったとき。 ・2分半を1セットとし、2セット終わったら、攻守を交代する。 <p>ゲームの流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①作戦を選ぶ ②攻撃2分半(1セット) ③作戦の見直し ④攻撃2分半(1セット) -攻守交代- ⑤作戦を選ぶ ⑥守備2分半(1セット) ⑦作戦の見直し ⑧守備2分半(1セット) <p>審判</p> <p>審判は各チームのプレーしていない児童が行う。タグの数を数える、ノックオンやオーバーステップなどの反則などを見る、得点をめくるなどの仕事をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○作戦ボードを活用し、どの作戦をどのような役割で行うかを具体的に考えられるようにする。 ○時間制によって攻守交代を行うことで、どちらのチームにも作戦を試す機会を確実につくる。 ○選んだ作戦を試しながら、チームで修正したり組み合わせたりしてよりよい作戦を立てていけるように作戦を見直しする時間を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆ 作戦を選んだり組み合わせたりして、チームの動きを工夫している。 (観察・学習カード)【思考・判断】</p> </div> <p>△努力を要すると判断される状況(C)の児童への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された作戦の中から自分のやってみたい作戦を選ぶように助言する。 ・スペースを作り出すためにどのような動きの工夫があるかを考えられるように言葉掛けを行う。 <p>◎十分満足できると判断される状況(A)の児童の具体的な姿</p> <p>攻めることができるスペースを作るための作戦を選び、チームの仲間の動きや役割分担などを進んで考え、実践に生かせるように声をかけている姿である。</p>
<p>整理 5分</p>	<p>7 作戦を試すためのメインゲームを行う。</p> <p>【メインゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルコート、4人対4人で行う。 ・流れによる攻守交代 ・次のプレーがあったときは、相手チームのフリーパスで再開する。 <ol style="list-style-type: none"> ①ボールを前に落とす。 ②タッチラインからボールや足が出てしまう。 ③タグの回数が4回になる。 ④その他の反則などがあったとき、1プレーを終了する。 ・前半5分後半5分 ・プレーの前に作戦づくりの時間、前半と後半の間に作戦を見直す時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題ゲームで考えたチームの動きを実践で試すことができるようにする。 ○作戦を生かした連携プレーを積極的に褒めることで、ランニング中心のゲームからパスを加えたゲームへとスムーズに移行できるようにする。 ○チームで元気よくファイトコールを言わせたり、ハイタッチや励ましの声かけなどを称賛したりして、温かい雰囲気で行えるようにする。 ○作戦がうまくいかないチームにはどのようにすれば得点につながるか、具体的に助言をする。 ○提示した作戦を工夫したり組み合わせたりしているチームがあれば褒め、運動の特性を味わえるようにする。
	<p>8 片付けをする。</p> <p>9 本時の学習のまとめをする。</p> <p>10 整理運動をする。</p> <p>11 次時の予告、あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○素早く安全に、分担して片付けさせる。 ○学習カードを活用し、一人一人が本時のねらいに沿った振り返りを行えるようにする。 ○成功した作戦を発表したり、良かったプレーを紹介したりして、本時の学習内容を振り返り次時の意欲を高める。 ○よく使った部位を、十分にほぐさせる。 ○次時の予告をし、意欲付けを行う。 ○元気に挨拶をし、授業を終わらせる。

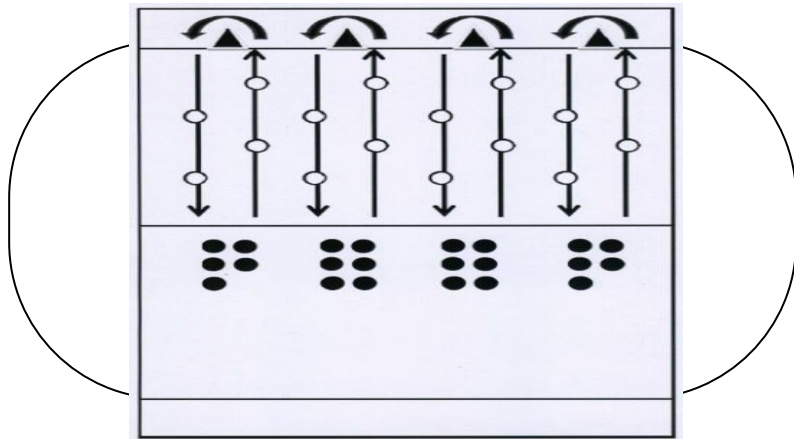
(4) 会場図

○外向き円陣パス



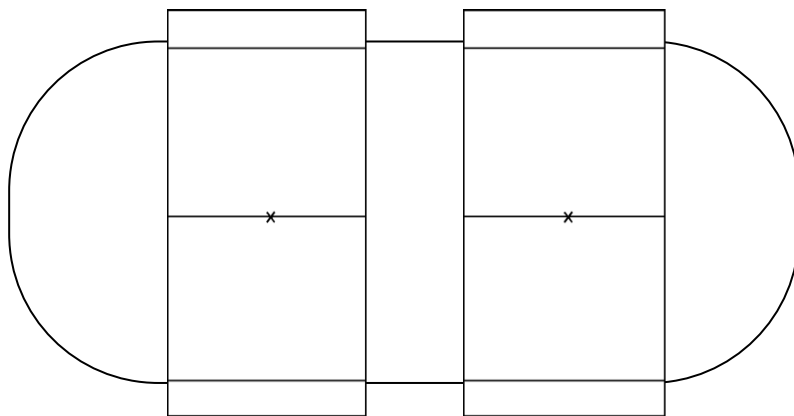
朝礼台

○折り返しパスリレー



朝礼台

○課題ゲームとメインゲーム



朝礼台

10 資料

(1) 本授業における、課題ゲーム及びメインゲームのルール

本時 課題ゲームのルール

★4対4で行う。(試合ごとに、前半後半1人ずつ各班から審判を出す。審判は背番号の順番に交代して行う。)

★2分半を1セットとして、2セット終わったら攻守を交代する。

【攻め】

★ボールを持ったら、前に走るか見方にパスを出す。

★タグをとられたら3歩&3秒以内に後ろにいる味方にパスをしなければならない。

★タグを返してもらいつけるまで、プレーに参加できない。

★インゴールで、ボールをかかげて「トライ!」と言うと得点になる。

★次のプレーがあったとき、コート中央にもどってフリーパスからやり直す。

○ボールを前に落としてしまったとき「ノックオン」

○タッチラインからボールや足が出てしまったとき

○タグを4回されてしまったとき

○パスを前に出してしまうとき「スローフォワード」

○タグを取られて3歩以上走ってしまったとき

○その他の反そくがあったとき

【守り】

★ボールを持っている人のタグをとったら、大きな声で「タグ!」と言う。

★タグをしたら、相手がパスを出した後、手渡しでタグを返す。

【審判】

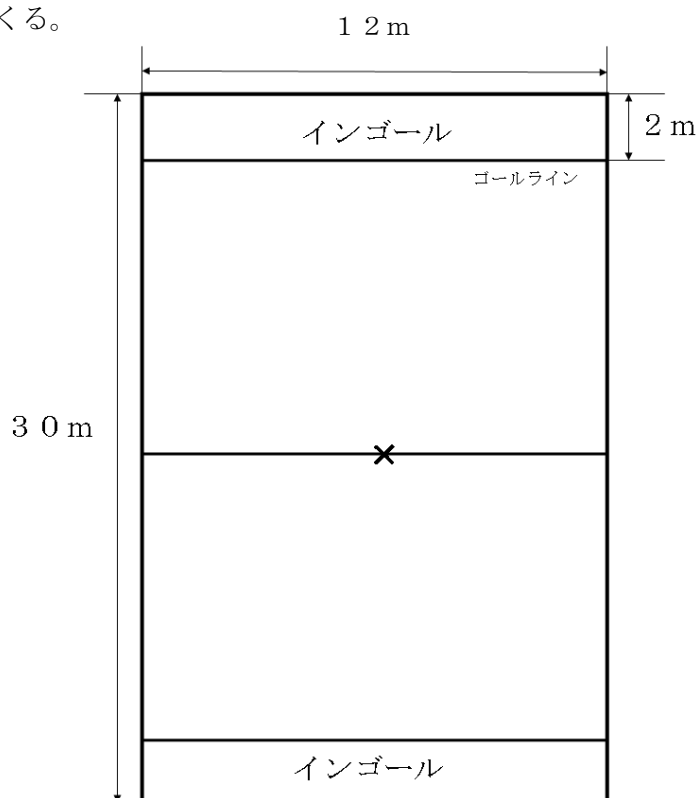
★タグの回数を数え、タグが4回になったらホイッスルを鳴らす。

★ノックオンしたときやタグ後3以上歩いてしまったときなどはホイッスルを鳴らす。

★トライしたら、「トライ!」と言って得点板をめくる。

ゲームの流れ

- ①作戦を選ぶ
- ②攻撃2分半(1セット)
- ③作戦の見直し
- ④攻撃2分半(1セット)
-攻守交代-
- ⑤作戦を選ぶ
- ⑥守備2分半(1セット)
- ⑦作戦の見直し
- ⑧守備2分半(1セット)



本時 メインゲームのルール

- ★4対4で行う。(試合ごとに、前半後半1人ずつ各班から審判を出す。審判は背番号の順番に交代して行う。)
- ★流れによる攻守交代をする。
- ★前半5分、後半5分で試合を行う。
- ★プレー前に作戦を確認する時間、前半後半の間に作戦を見直す時間を設ける。

【攻め】

- ★ボールを持ったら、前に走るか見方にパスを出す。
- ★タグをとられたら3歩&3秒以内に後ろにいる味方にパスをしなければならない。
- ★タグを返してもらいつけるまで、プレーに参加できない。
- ★インゴールで、ボールをかかげて「トライ!」と言うと得点になる。
- ★次のプレーがあったとき、攻守交代して相手ボールになり、中央からのフリーパスになる。
 - ボールを前に落としてしまったとき「ノックオン」
 - タッチラインからボールや足が出てしまったとき
 - タグを4回されてしまったとき
 - パスを前に出してしまったとき「スローフォワード」
 - タグを取られて3歩以上走ってしまったとき
 - その他の反そくがあったとき

【守り】

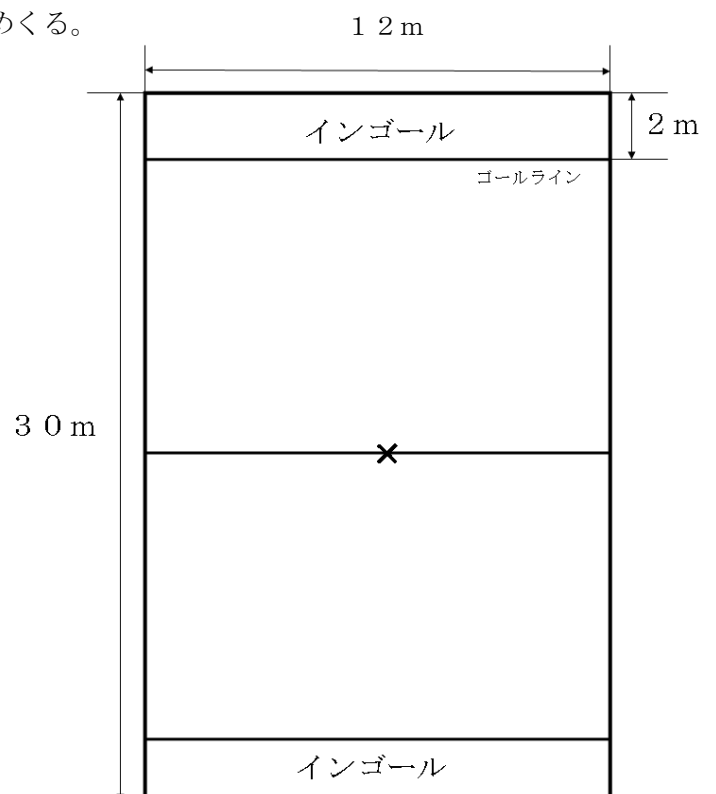
- ★ボールを持っている人のタグをとったら、大きな声で「タグ!」と言う。
- ★タグをしたら、相手がパスを出した後、手渡しでタグを返す。

【審判】

- ★タグの回数を数え、タグが4回になったらホイッスルを鳴らす。
- ★ノックオンしたときやタグ後3以上歩いてしまったときなどはホイッスルを鳴らす。
- ★トライしたら、「トライ!」と言って得点板をめくる。

ゲームの流れ

- ①作戦を確認する
- ②前半5分
- ③作戦の見直し
- ④後半5分



(2) 学習カード

チーム名() チームカラー()

名前

ダッシュでトライ！全員主役のラグビー

学習のめあて

- ①ラグビーの行い方を知り、攻め方を工夫しよう！
- ②友達と協力して準備や片付けをし、安全に気を付けて運動しよう！
- ③走り方や動きを工夫し、相手をかわしながら走ってボールを前に進めよう！
- ④ラグビーに進んで取り組み、ゲームを楽しむためのきそくを選ぼう！
- ⑤ボールを持っている人からパスを受けられる位置に移動して、サポートする力を高めよう！
- ⑥ラグビーの攻め方を知り、作戦を選んでチームの動きを考えよう！
- ⑦作戦におうじて動きを工夫し、チームで協力して立てた作戦を実行しよう！
- ⑧友達とはげまし合い、“ノーサイド”の精神でチャンピオンシップを楽しもう！

メンバー（役割）
()
()
()
()
()
()

役割分担
チームリーダー
副リーダー
得点係
記録係
用具係（6人の班は2人）

チーム力も高めよう！

チームのめあて



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧

学習のふり返り



時間	1 (/)	◎○△
本時のねらい	タグラグビーの行い方を知り、攻め方を工夫しよう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

時間	2 (/)	◎○△
本時のねらい	友達と協力して準備や片付けをし、安全に気を付けて運動しよう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

時間	3 (/)	◎○△
本時のねらい	走り方や動きを工夫し、相手をかわしながら走ってボールを前に進めよう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

時間	4 (/)	◎○△
本時のねらい	タグラグビーに進んで取り組み、ゲームを楽しむためのきそくを選ぼう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

時間	5 (/)	◎○△
本時のねらい	仲間からパスを受けられる位置に動いて、サポートする力を高めよう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

時間	6 (/)	◎○△
本時のねらい	タグラグビーの攻め方を知り、作戦を選んでチームの動きを考えよう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

時間	7 (/)	◎○△
本時のねらい	作戦に応じて動きを工夫し、チームで協力して、立てた作戦を実行しよう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

時間	8 (/)	◎○△
本時のねらい	友達と励まし合いながら、ノーサイドの精神でチャンピオンシップをしよう！	
チーム力	チームのめあてが達成できましたか？	
感そう		

